



# 網走養護学校だより

令和3年度  
第 4 号  
(通215巻号)  
12月24日発行  
TEL 0152-48-2137

## ☆はじめて☆の宿泊研修

11月18日(木)～19日(金)に、小学部5年生3名で一泊二日の宿泊研修を行いました。特に印象に残ったエピソードを記載します。

出発式では、お母さんとの別れを惜しむかと思いきや、「早く行きたい!」という子どもたちのたくましい姿がそこにはありました。

流水硝子館では、ストラップ作りに挑戦しました。自分で選んだガラス玉やビーズを指導者と一緒に紐に通していき、個性あふれるオリジナルのストラップが完成しました。すぐにリュックに付ける子も・・・。

全員が楽しみにしていたキネマ館やヴィクトリアでの昼食は、事前に自分たちで決めたメニューをおいしくいただきました。お家へのお土産も自分たちで選びました。買い物もバッチリできました。

網走消防署では、消防車やはしご車に乗り16m上空まで上がり、防護服を着て、普段できない体験がたくさんできました。

北海ホテルでは、部屋に着くなり布団にダイブする子、部屋着の浴衣を着たいと申し出て指導者にも「着て。」と言わんばかりにアピールする子、初めて見る部屋に困惑する子、と反応は様々でしたが、初めてのお泊まりができました。

延期の影響で少し肌寒い時期での実施となりましたが、子どもたちそれぞれの普段の学習の成果を見ることができました。(文責：串田)



## 雨二モ負ケズ? 宿泊研修



11月1日から2日にかけて中学部の2年生4名で宿泊研修に行ってきました。

1日目最初の見学先、流水硝子館では、ストラップ作り体験をしました。自分で選んだガラス玉やビーズを紐に通していき、オリジナルのストラップを作りました。4人それぞれの個性が光る作品を作ることができました。

道の駅で昼食、北方民族博物館を見学して1日目最後の訪問先はオホーツク流水館。体感テラスで-15.5℃の世界を体験してきました。実際の流水でできた椅子は滑らかで座り心地抜群?でもお尻が冷たくてすぐに立ち上がる生徒たちでした。雨が降っていましたが屋上の展望テラスにも行き記念撮影。お店の看板を発見して満足している様子の生徒もいました。寒いけれどやっぱり食べたいソフトクリーム。みんなで流水ソフトを堪能してホテルへ向かいました。

2日目には監獄博物館を見学してお土産を買い、無事学校に戻ってきました。

1日半の宿泊研修。延期の影響で予定よりも少し短い行程となりましたが、学びの多い充実した時間を過ごすことができました。(文責：海富)



## 🚌🚌🚌 見学旅行～一致団結～ 🚌🚌🚌

中学部3年生5名は、11月10日から12日の日程で旭川方面へ見学旅行に行ってきました。3日間の見学旅行では、旭川市博物館でアイヌ文様のコースターを作り、北の嵐山大雪釜では小鉢を作る体験をしました。職員の話を聞く姿勢がとても立派で、指導者の指示を受け入れながら一人一人真剣に取り組むことができました。

2日目の旭山動物園では、課題学習に取り組みながらたくさんの動物を見に行きました。iPadを持ちながら、目的の動物の写真を撮ることができました。

3日目は、自主研修。旭川駅から電車に乗り、上川の昼食場所まで、自分たちで作った地図を頼りに散策をしながら無事に目的地に着くことができました。

コロナ禍の中で生徒全員がたくさんの方の優しさに触れ、地域の方の協力の元、思い出が残る見学旅行になりました。これも保護者の皆様のご理解とご協力があったことです。ご心配をおかけした保護者の皆様、ありがとうございました。（文責：北原）



## 好天に恵まれて旅を満喫！

高等部3年生は10月6日から8日までの2泊3日で釧路・中標津へ見学旅行に行ってきました。例年は東京へ行っていましたがコロナ禍の折ということで、より安全な釧路方面への旅行となりました。弟子屈の渡辺体験牧場、釧路市動物園、和商市場、釧路市こども遊学館、道立ゆめの森公園、中標津町の東武サウスヒルズ、裏摩周展望台などを巡ってきました。道内とはいえ、未知の土地が多く発見と感動の連続でした。渡辺体験牧場でのアイスクリーム作りや大型トラクター乗車・牛のえさやり体験、動物園でのペンギンの行列・虎やライオン見学、そして和商市場で勝手丼を味わいました。何よりホテルでの食事が全員揃った和気あいあいの楽しい一時でした。移動のバスの中も景色を見たり、話に花が咲いたり、とにかく旅行中の全ての時間が最高の一瞬として輝いていました。（文責：河野）



## 編集後記

今号は、宿泊研修・見学旅行の様子についてお伝えしました。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、延期が続いた宿泊研修・見学旅行でしたが、無事に実施することができました。高等部1年生の宿泊研修については、実施次第お伝えする予定です。（文責：塩越）